



好調の3ポイントを生かし得点源となった土屋
撮影＝高野葵葉(文3)

優秀選手賞 介川アンソニー翔
関東大学バスケット 2019年以来となる
ボール新人戦Ⅱ6月 準決勝進出を果たした専
259日、世田谷区・ 大だったが、日体大に惜
日体大世田谷キャン 敗。続く3位決定戦では
パスほか 中大と対戦した。前半は
主導権を握られ、追いか

接戦制し3位

ける展開が続いた。しか
し、徐々にディフェンス
が機能し始めると、介川
アンソニー翔(商2・開
志国際高)や土屋来風
(経済2・桜丘高)の得
点から逆転に成功し、71
66で勝利。新人戦は3
位で幕を閉じ、介川が優
秀選手賞を受賞した。
今大会は、介川が攻守

次戦は7月8日から北
海道で開催される全日本
大学バスケットボール新
人戦。土屋が「日体大に
リベンジして優勝した
い」と意気込みを語ると、
佐々木優一監督は「関東
3位という結果には誰も
満足していない。新人イ
ンカレに向けてしっかり
準備していきたい」と話
した。
(君嶋悠樹・経済1)



試合前に円陣を組む女子エペチーム

エペチームが健闘 女子2位 男子3位

関東学生フェンシン
グリーグ戦Ⅱ5月8
15日、世田谷区・
駒沢公園屋内球技場
女子エペがリーグ戦で
2位となった。

専大は全5戦で4勝を
挙げたものの、全勝の明
大に一步及ばなかった。
主将の齋藤華南(経済4・
秋田商高)は「悪くない
結果だが、試合内容は反
省ばかりだった。今シー
ズン初めての団体戦でま
だまだやることはたく
さんある。個々の実力を
(竹田一爽・文3)

剛騎杯 女子エペ 土井優勝

関東学生連盟所属の
1、2年次生を対象とし
た剛騎杯選手権大会(6
月152日、世田谷区・
大蔵第二運動場体育館)
では、女子エペで土井彩
葵(経営1・米沢東高)

最短で1部復帰
ワイルドカードで
全日本学生王座へ
関東学生アーチェリ
リーグ戦・入れ替
え戦Ⅱ5月11日、江
東区・夢の島公園ア
ーチェリー場

悔しさを力に変えた。
昨季2部に降格したアー
チェリー部は、リーグ戦
(4月2027日)を1位
で終え、1部下位4校と
2部上位4校による入れ
替え戦へ。主将の貫井俊
汰(文4・所沢中央高)
(経済1・岩国工高)が
ともに3位となった。
着実にポイントを増や

最短で1部に返り咲い
た。
また、1部下位と2部
上位が全日本学生王座決
定戦(6月1516日)の
1枠の出場権を懸けて戦
う、トーナメント方式の
ワイルドカード決定戦
(5月4日)では、1部
5位の中大に競り勝つな
ど順調にコマを進め、決
勝では明大に62で勝
利。3年ぶりの出場を勝
ち取った。



3得点と活躍したクラーク
撮影＝大竹瑞希(文2)

粘り強さ発揮し7位

10年ぶりに8強入り

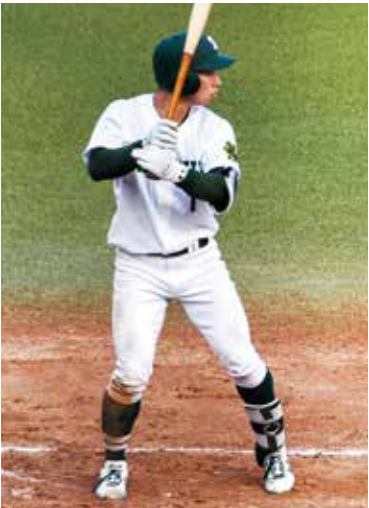
関東大学アイスホッ
ケー選手権大会Ⅱ5
月5日6月2日、
東京都・ダイード
リンコアイスアリー
ナ

専大は関東大学リーグ
戦のDivision I
に所属する14大学が参戦
するグループAに出場。
戦にまわった。

37年ぶりの5位を目指
して挑んだ順位決定戦
は、初戦で大東大に敗れ
たものの、慶大との7・
8位決定戦は513で
勝利した。
今大会では、皆川堅史
郎(法3・白樺学園高)
とクラーク証音(法1・
日光明峰高)がチーム最
多の3得点をマークし
た。

2位 小柴が首位打者

東都大学野球春季リ
グ戦(2部)の全日程が
終了した。専大は最終戦
で国士大に勝利し、8勝
5敗・勝ち点3で2位と
なった。個人では主将の
小柴晃樹(経営4・校成
学園高)が首位打者を獲
得した。
ベストナインの二塁手
部門で小柴が満票で選出
されたほか、捕手部門で
中野拳志郎(文3・小浜
高)、指名打者部門で松



3番を任された小柴が首位打者を獲得 撮影＝秋原

永知大(経済3・創成館
高)が選ばれた。投手陣
では肥沼竣(商4・加藤
小山明香・文3)
小柴は「投打がかみ合
うのが遅かった。秋季リ
グ戦は、開幕戦からし
っかりと入っていきけるよ
うに準備していく」と話
した。

サッカー部

2人のJリーガーが誕生

今年もサッカー部からJリーガーが誕生し
た。山本大(経済4・名古屋高)が水戸ホ
ーリーホック、松村厳(法4・松商学園高)
が松本山雅FCに、2025年シーズンから
の加入することが内定した。
山本は今季のJFA・Jリーグ特別指定選
手として、5月18日の大分トリニータ戦でJ
リーグ初出場を果たした。推進力のあるドリ



今季も4試合で1ゴールと活躍を見せる山本
撮影＝北原倭多(文3)

加入内定 山本が水戸 松村が松本

ブル突破を武器に専大サッカー部の攻撃をけ
ん引するドリブラーは「今まで支えていただ
いた全ての人たちに感謝し、恩返しできるよ
うに頑張りたい」と語った。
松村はフィジカルを生かした対人守備が魅
力のディフェンダー。今季は主将として関東
大学リーグ戦の2部昇格を目指すチームを支
えている。「J入りは、入学時からの目標だっ
たのでうれし。まずは専大で結果を残すこ
とを一番に考えている。今季こそ必ず昇格を
果たす」と活躍を誓った。
(竹田)



主将としてチームをけん引する松村
撮影＝河上明来海(文4)

10位に終わる

春季関東大学バレー
ボールリーグ戦Ⅱ4
月6日5月21日、
神奈川県・小田原ア
リーナほか

日本代表として活動す
る甲斐優斗(経営3・日
南振徳高)を欠くなか、
リーグを制した中大に勝
利するなど4勝7敗で10
位という結果で終えた。
リーグ終盤はフルセッ
トまでもつれ込む試合が
続き、選手たちからは勝
利に対する強い気持ちを
感じた。井出脩斗(経済
4・聖隷クリストファー
高)は「つなぎの部分は
少し上がってきたと思

専大からは6人が出
場。民永諄樹(経済4・
鎮西高)、守安祥輝(商
4・福岡大附大濠高)、
寺坂祥(経済2・福岡大
附大濠高)の3人がベス
ト32入り。石田健真(経
済1・九州学院高)を加
えた4人が全日本学生剣
道選手権大会(6月2930
日)の出場を決めた。

4人が全日本 学生の出場権

関東学生剣道選手権
大会Ⅱ5月12日、千
代田区・日本武道館